山形県の古木・名木 No.107

猿羽根楯跡の親杉（さばねたてあとのおやすぎ）

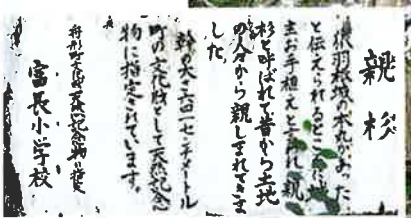
最上郡舟形町富田字楯山2357-2

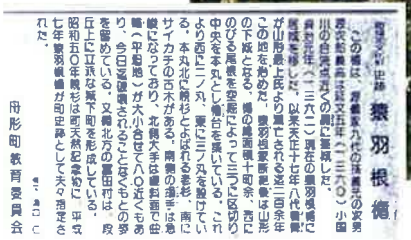
（案内略図）

猿羽根楯跡は舟形町の西南西方、沢口山にあります。楯とはいわゆる小規模の城砦のことで猿羽根家の居城として、貞治元年(1362年)から天正17年(1589年)までの227年間、九代にわたり続いたといわれています。楯跡は、平成７年に町史跡に指定されていますが、本丸に楯主御手植えと伝えられ、地域の方々に親杉として親しまれ大切に守り続けてこられたスギの巨木があります。

昨年の７月に実測の結果、樹高は29.56m、目通り（地上1.5m）の幹囲は6.8m、根周は11.2mで、樹齢は五百～六百五十年と推定されています。今年２月４日、西川町大井沢の大栗とともに県天然記念物に指定されました。

〔山形県森林協会〕





【森林やまがた135号（2011年９月）記載】